

ジフテリア、破傷風、および百日咳 予防接種

知っておくべきこと

1 予防接種が必要な理由とは?

ジフテリア、破傷風、および百日咳は細菌が原因の重篤な病気です。ジフテリアと百日咳は人から人に伝染します。破傷風は切り傷または創傷から身体に侵入します。

ジフテリアによって喉の奥に分厚い膜が張ります。
・これは呼吸困難、神経麻痺、心不全、および死亡にも至ることがあります。

破傷風(開口障害)によって通常全身の筋肉が緊張し苦痛が伴います。
・これは顎が固定され、開口できなくなったり、飲み込むことができなくなります。10症例中約1症例が破傷風により死亡します。

百日咳によって咳の発作が非常に長い間続くため、乳児は飲食や呼吸が困難になります。発作は何週間も続くことがあります。
・肺炎、てんかん発作(痙攣と一点を見つめて動かない)、脳障害、および死亡につながる可能性があります。

ジフテリア、破傷風、および百日咳予防接種(DTaP)はこれらの病気の予防に役立ちます。DTaPの接種を受けた大半の子供は子供時代を通して保護されます。接種を停止した場合、さらに多くの子供がこれらの病気にかかります。

DTaPはDTPと呼ばれる旧式の予防接種をさらに安全にしたものです。米国においてDTP接種はもう実施されていません。

2 DTaP 予防接種の対象者と接種時期とは?

子供はDTaP予防接種を5回受ける必要があり、下記の年齢において1回ずつ接種を受けます。

- ✓ 2カ月
- ✓ 4カ月
- ✓ 6カ月
- ✓ 15~18カ月
- ✓ 4~6歳

DTaPは他の予防接種と同時に受けることができます。

3 DTaP 予防接種を受けないほうが良い子供、または時期を見合わせたほうが良い子供とは?

- ・風邪など軽症の病気がある場合でも、予防接種を受けられます。しかし、接種予定時に中程度または重度の病気のある子供は、通常、回復するまでDTaP予防接種を受けないください。
- ・前回のDTaP予防接種後に生命に関わるアレルギー反応があった場合は、次の接種を受けないください。
- ・DTaP予防接種後7日以内に脳または神経系の病気にかかった場合は、次の接種を受けないください。
- ・下記の場合は医師にご相談ください。
 - DTaP予防接種後にてんかん発作または虚脱状態になった場合
 - DTaP予防接種後3時間以上泣き続けている場合
 - DTaP予防接種後に華氏105度(摂氏40.5度)以上の熱が出た場合

詳細は医師か看護婦にお尋ねください。これらの子供は次の百日咳予防接種を受けるべきではありませんが、DTと呼ばれる百日咳が含まれない予防接種を受けることができます。

4 7歳以上の子供および成人

百日咳予防接種は7歳未満の子供だけに許可されているため、DTaPを7歳以上の子供には接種することはできません。

しかし、7歳以上の子供、青少年、および成人は破傷風とジフテリアに対する保護が必要です。11~12歳の時と、以後10年毎にTdと呼ばれる追加接種が推奨されます。この予防接種を受ける方のために別のVaccine Information Statement(予防接種情報文)があります。

5

DTaP 予防接種に関係するリスクとは?

DTaP 予防接種を受けるのは、ジフテリア、破傷風、または百日咳に感染するよりはるかに安全です。

しかしどんな薬剤でも同様に、予防接種は、重度のアレルギー反応などの重篤な問題の原因となることがあります。DTaP 予防接種が原因で、重篤な障害や死亡に至るリスクは非常に少ないです。

軽い症状(一般的)

- 発熱(4人中最高約1人の子供)
 - 接種部分の赤らみや腫れ(4人中最高約1人の子供)
 - 接種部分の痛みや過敏症(4人中最高約1人の子供)
- これらの症状は早期の接種後よりも4回目と5回目のDTaP接種後により多く生じます。時には4回目または5回目のDTaP接種後に接種した腕や脚全体が腫れて1~7日腫れが引かないことがあります(30人中最高約1人の子供)。

その他の軽い症状

- 不機嫌(3人中最高約1人の子供)
- 脱力感や食欲不振(10人中最高約1人の子供)
- 嘔吐(50人中最高約1人の子供)

これらの症状は一般的に接種後1~3日に生じます。

中程度の症状(非一般的)

- てんかん発作(痙攣または一点を見つめて動かない)(14,000人中約1人の子供)
- 3時間以上泣き続ける(1,000人中約1人の子供)
- 華氏105度(摂氏40.5度)以上の高熱(16,000人中約1人の子供)

重度の症状(非常に稀)

- 重篤なアレルギー反応(100万接種件数中1件未満)
- DTaP 予防接種後に報告されたその他の重度障害
 - 長時間のてんかん発作、意識不明、または意識の低下
 - 永久的な脳障害これらは非常に稀であるため、この予防接種が原因であるかどうかを判定するのは困難です。

いずれにせよ、てんかん発作のあった子供について熱を抑えることは特に重要です。また、家族の誰かがてんかん発作を経験した場合も重要です。接種時および接種後24時間中に、パッケージの説明に従って、アスピリン無含有の鎮痛剤を子供に飲ませ熱と苦痛を削減できます。

6

中程度から重度の反応があった場合はどうしますか?

気を付けることとは?

重篤なアレルギー反応、高熱、または普通でない様子など、平常でない状態に気を付けてください。重

篤なアレルギー反応はどのような予防接種においても極めて稀です。発生する場合は、接種後2、3分から2、3時間以内に起こります。症状には、呼吸困難、声かれ、喘鳴、じんま疹、青ざめ、脱力感、動悸、またはめまいが含まれることがあります。高熱やてんかん発作が生じるとすれば、接種後1週間以内に通常生じます。

どの様に対応すれば良いでしょうか?

- 医師に連絡するか、症状のある人を直ちに医師に連れて行ってください。
- 症状、発症した日時、予防接種を受けた日を医師に知らせてください。
- Vaccine Adverse Event Reporting System (VAERS: 予防接種有害事象報告システム)用紙を提出するよう医師または看護婦に要請するか、自分でVAERS(米国内フリーダイヤル1-800-822-7967)に電話してください。

7

全米予防接種傷害補償プログラム(National Vaccine Injury Compensation Program)

自身またはお子様が予防接種により重篤な反応を生じる稀な場合に備え、傷害のあった方の医療費用支払を支援するため連邦プログラムが設定されています。

National Vaccine Injury Compensation Programの詳細は、1-800-338-2382までお電話いただくか、<http://www.hrsa.gov/osp/vicp/>で同プログラムのウェブサイトをご覧ください。

8

もっと詳細を知りたいのですが?

- 医師か看護婦にお尋ねください。医師か看護婦から予防接種の添付説明書を受け取ったり、その他の情報源を入手できます。
- 地元または州の保健局予防接種プログラムにお電話ください。
- Centers for Disease Control and Prevention (CDC: 疾患管理予防センター)にご連絡ください。
 - Call 1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO)
 - <http://www.cdc.gov/nip> で National Immunization Program (国立予防接種プログラム)のウェブサイトをご覧ください。



U.S. DEPARTMENT OF HEALTH & HUMAN SERVICES
Centers for Disease Control and Prevention
National Immunization Program

Vaccine Information Statement
DTaP IMM 509 - Japanese (7/30/01) 42 U.S.C. § 300aa-26
Translated by Transcend Translations, Davis, CA
<http://www.transcend.net>